

あなたの健康をサポート!



お薬に立つ おはなし

Vol.61

おくすりノートはすぐれもの

「薬剤情報提供書(お薬の説明書)」と「おくすりノート」

「薬剤情報提供書」は患者さん向けに、その時に服用する薬について、お薬の名前、効能・効果、飲み方、副作用、お薬の飲み合わせ、服用時や日常生活上の注意事項などを詳しく説明したものです。

一方、「おくすりノート」は、過去にどのような病気、何の薬をどれくらいの期間服用されたかやどの薬でどのような副作用、アレルギーが起こったかなど患者さんの現在までの薬物治療に関する大切な情報が記載されたノートです。これを医療機関で確認することによって安全で、効果的な薬を処方してもらうことができます。従って、いつも同じ薬でも、毎回記載してもらうことが大切です。



薬剤師に
お任せ!

おくすり
なんでも

Q&A

Q

吸入薬って何ですか?

A

口から吸い込むことで
気管支や肺に直接薬を送り込んで
効果を発揮する薬のことです。



吸入薬は主に薬液を電気力で霧状にするタイプやスプレー缶に入った薬が微小な粒子となり一定量で噴出されるエアゾールタイプ、粉末状の薬を直接吸い込むドライパウダータイプがあります。

今までは主に喘息治療で使用されていましたが、現在はインフルエンザの薬でも粉末を吸い込むタイプが使用されています。直接患部に届く良い薬ですが、間違った吸入の仕方では十分な効果が得られないので注意が必要です。

大切なのは粉末の薬を気管支や肺に送り込むということ。まず、正面をむき軽く息を吐いてから吸入口をくわえ「スーッ」と大きく吸い込むのがコツ。ゆっくり、そーっと吸ってはダメ、薬が気管支に届かず口の中で止まってしまうかもしれません。その後、無理をしない程度に2~3秒息を止めましょう。これでバッチリです!

インフルエンザで体調が悪い時に吸入法を理解するのは大変です。時間のある時にかかりつけ薬局で吸い方のコツを覚えてもらうのも一つの方法かもしれません。そして、まず感染しないように予防注射や規則正しい生活を心掛けるのが大切です。

なお、お薬のタイプによっては吸入後うがいが必要なものもあります。詳しくは薬剤師の説明を受けてください。

—あなたのかかりつけ薬局をもちましょう—

社団法人佐賀県薬剤師会

〒840-0027 佐賀市本町本店1269-1

TEL0952-23-8931 FAX0952-23-8941

<http://www.sagayaku.or.jp/>